

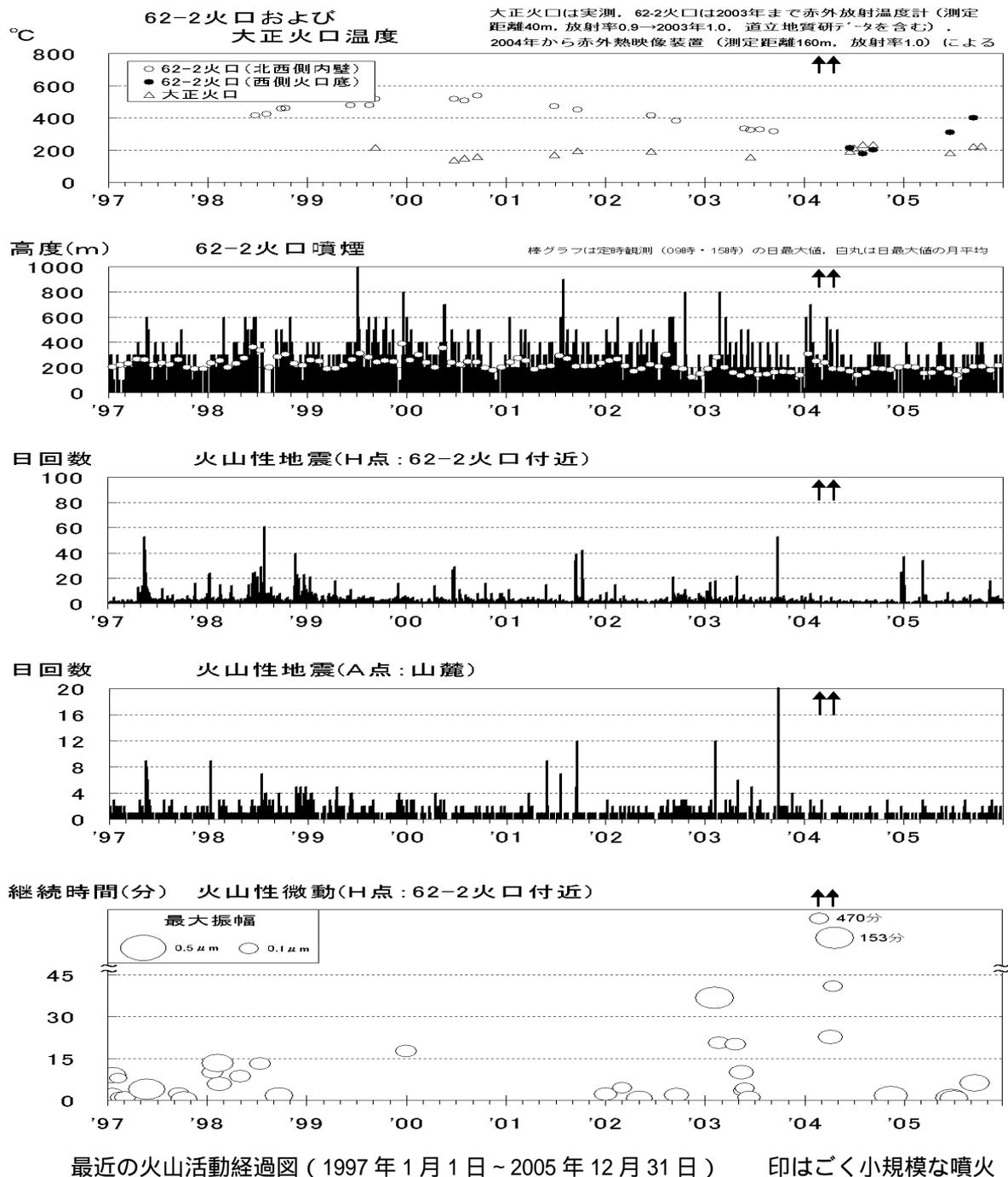
十勝岳

1 概況

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

2 噴煙の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。噴煙は白色で高さは火口縁上おおむね 200 mで経過しました。



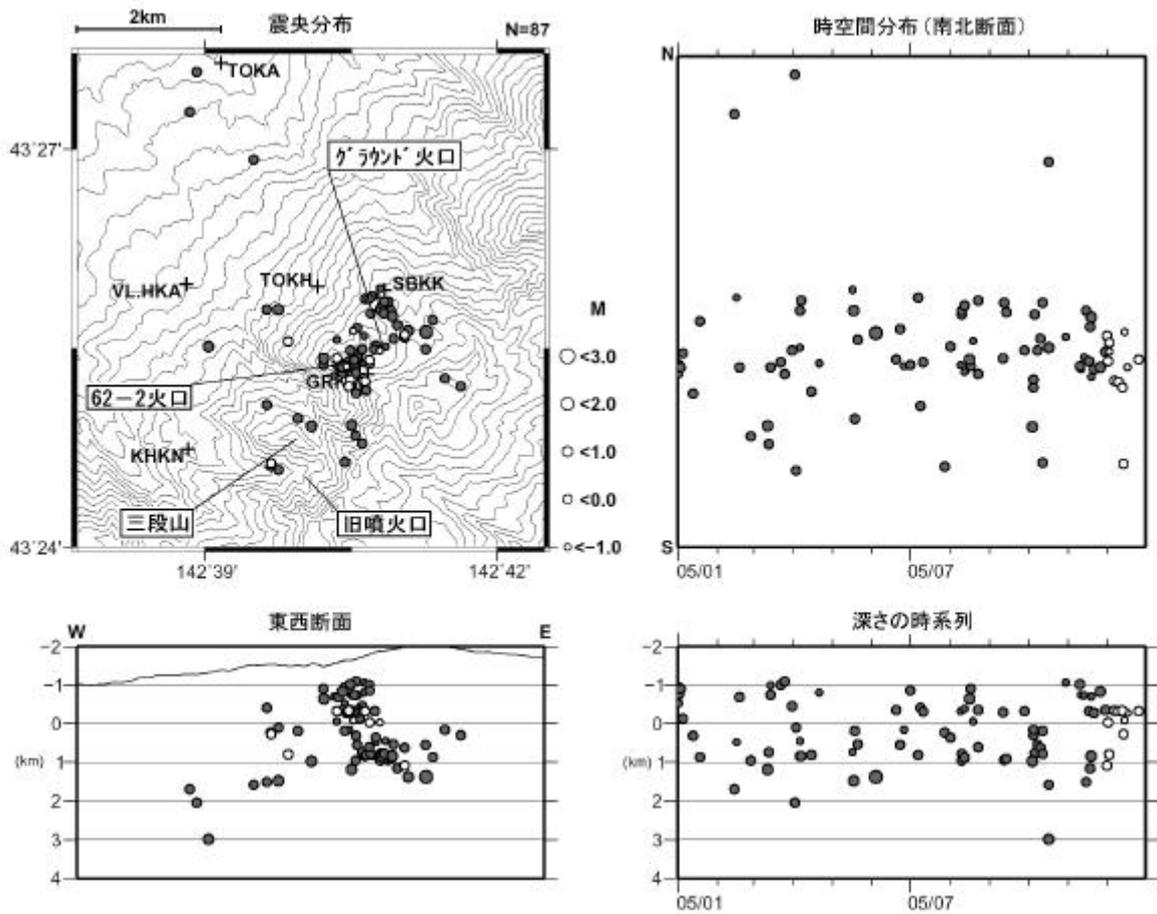
十勝岳の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。

3 地震および微動の発生状況

火山性地震は1日あたり0~6回と少ない状態で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数(H点:火口付近の観測点 A点:山麓の観測点)

2005年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地震回数H点	60	20	86	14	14	26	17	41	29	25	78	69
地震回数A点	4	2	11	4	5	3	4	13	2	7	14	9
微動回数H点	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0



十勝岳の震源分布図(丸印:震源、+印:地震観測点、気象庁と北海道のデータを使用)

印は今期間(2005年12月1日~31日)に求まった震源を示しています(11個)

印は前期間までの11ヶ月間(2005年1月1日~2005年11月30日)に求まった震源を示しています(76個)

震源はグラウンド火口周辺と三段山~旧噴火口周辺の浅部(海面上1km~海面下1km程度)に集中しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

震源分布図の説明

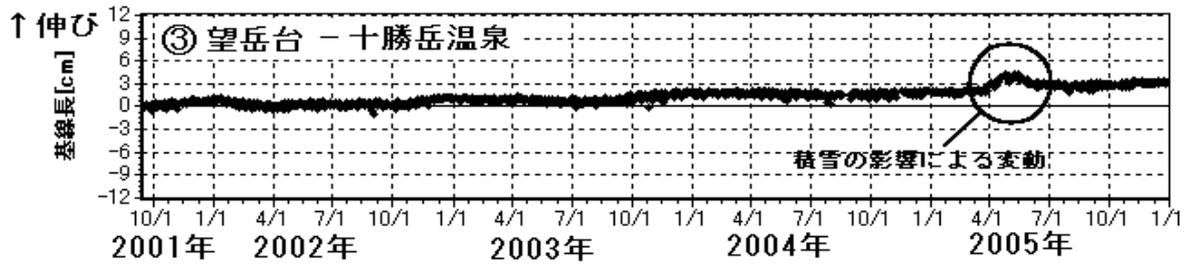
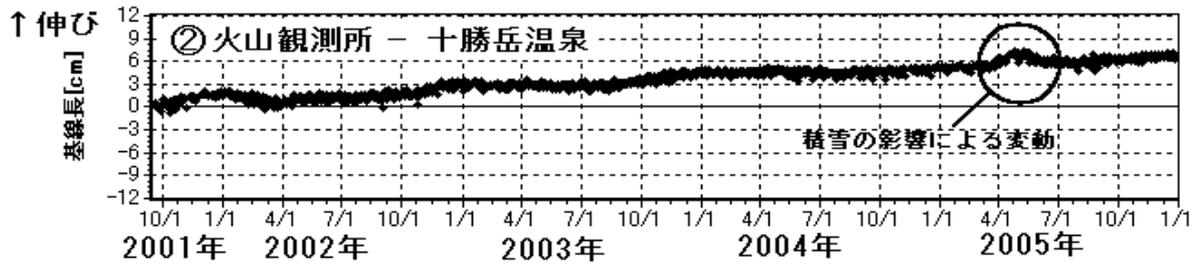
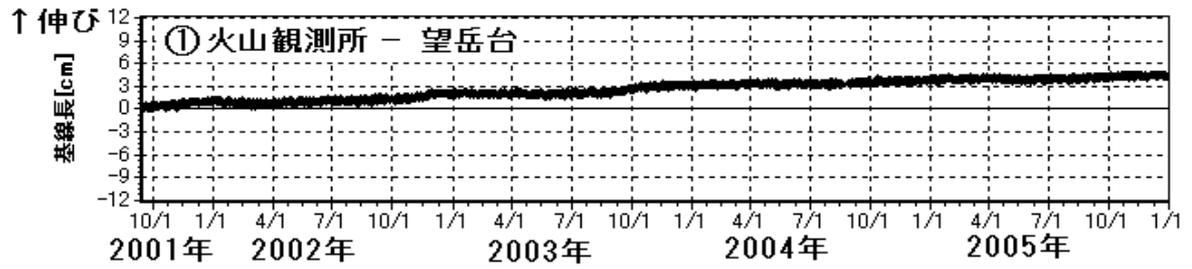
東西断面 震央分布で表示された範囲を東西面に投影して、地震の垂直分布を示した図です。

時空間分布 震央分布で表示された範囲を時間経過とともに南北面に投影することで、震央の位置がどのように推移しているかを示した図です。

深さの時系列 時間経過とともに震源の深さがどのように推移しているかを示した図です。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。



基線長変化 (2001年9月13日~2005年12月31日)

